

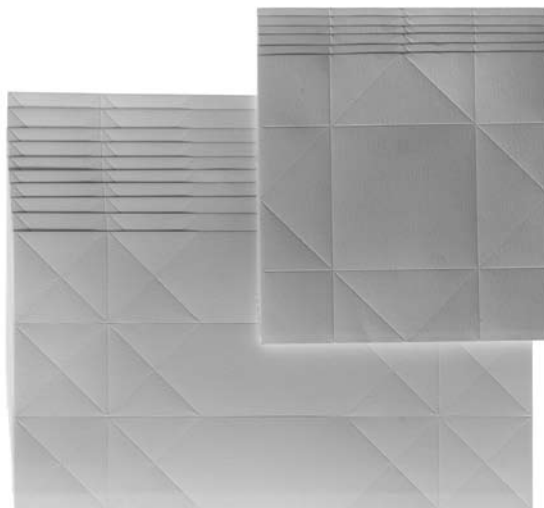
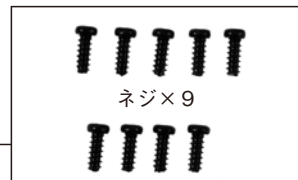
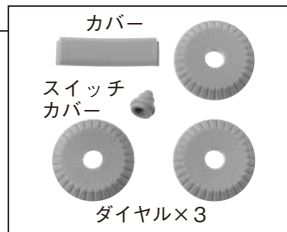
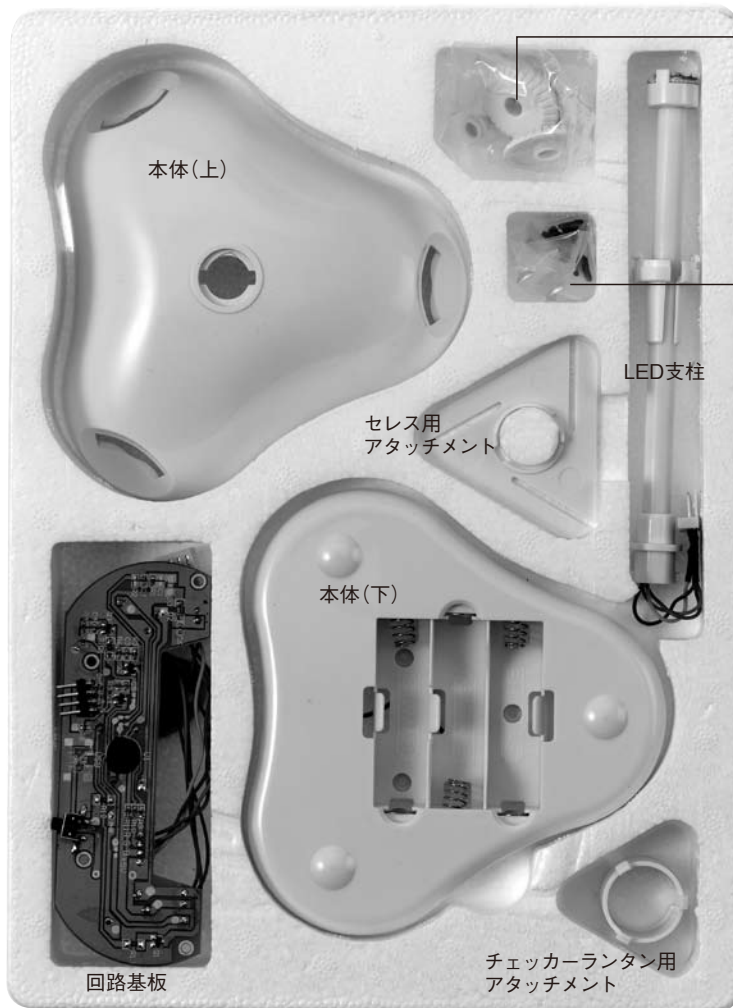
ふろくの組み立て方と使い方

AKARI折り紙



入っているもの

組み立て所要時間：約 30 分



折り紙用紙
チェッカーランタン用 6枚
セレス用 3枚綴り10枚 (カッターなどできれいに切り離して使います)
※折り紙用紙は、TANT N-8 という用紙を使用しています。
※折り紙用紙は左の部材といっしょにケースの中に入っています。誤って捨ててしまわないようご注意ください。

用意するもの

ドライバー (JIS 規格の No.1)、カッター

⚠ 注意 ふろくを組み立てる前に必ずお読み下さい。

- とがった部品の取り扱いには十分に注意してください。けがをするおそれがあります。
- ねじなど、小さな部品があります。誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ふろくは小さな子の手の届かない所にしまってください。

単三形乾電池を3本使用します。電池は間違った使い方をすると、発熱・破裂・液漏れが起こることがあります。下記のことにご注意してください。

- オキシライド電池は使わないでください。回路を壊すおそれがあります。
- +・- (プラス・マイナス) を正しくセットしてください。
- 万一、電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。皮膚や服についた場合は、すぐに洗ってください。
- 使用後は、電池をはずしておいてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。

※使い方と注意をよく読んでからお使いください。
※安全のため、この説明書にある使い方を必ず守ってください。また、使用中に破損、変形してしまった部品は使用しないでください。

ねじどめの注意

ねじをとめるときは、ドライバーをねじにしっかり垂直に押し付けながら回します。基本は押す力が7で回す力が3といわれています。ふろくに使われているねじは、プラスチックにみぞを刻みながら入れていくタイプです。このため、あまりねじどめに力を入れすぎるとねじ穴が破損する恐れがあります。ねじどめに使うドライバーは、JIS規格のNo.1のドライバーが最適です。精密ドライバーは回しにくいので、グリップ径が2cmくらいのドライバーをお使いください。

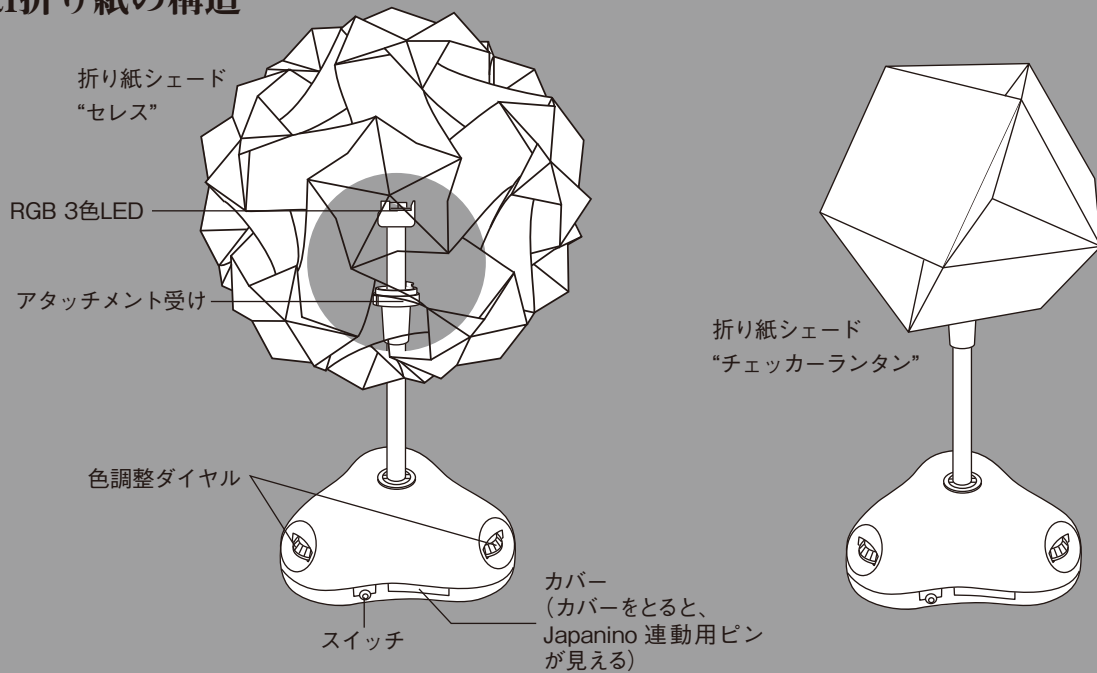


ドライバーの原寸図

- このふろくに使われている材質
本体・アタッチメント・ダイヤル・ふた・LED台座・支柱台座 (白) : ABS
アタッチメント受け (白) : POM 支柱 (白) : PS
ネジ : 鉄 (クロムメッキ) 電池金具 : 鉄 (ニッケルメッキ)
- ※不要になったときは、各自自治体の決まりに従って処分してください。

製品には万全を期しておりますが、万一部品の不良・不足等ございましたら、編集部までご連絡ください。良品をお送りします。
TEL : 03-6431-1272 (編集部直通 月～金 10:00～17:00) e-mail : okm@gakken.co.jp
※電子メール、あるいは携帯メールでのお問合せの場合、本文に必ずあなたの住所・氏名・電話番号を記入してください。

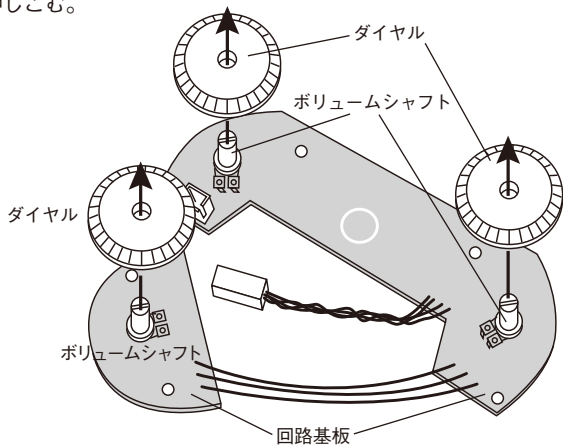
AKARI折り紙の構造



■本体に回路基板を取り付ける

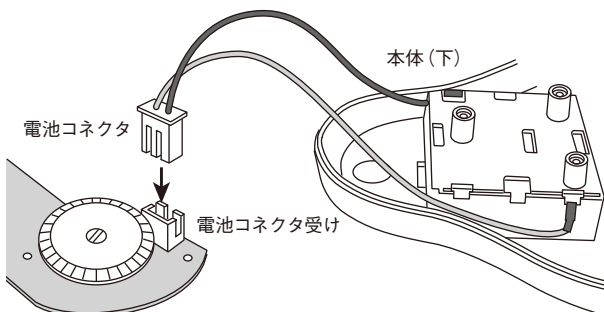
1. 回路基板にダイヤルを取り付ける

2枚の回路基板にある、3つのボリュームシャフトにダイヤルを取り付ける。図のようにギザがある方を上にして、奥までしっかり押しこむ。



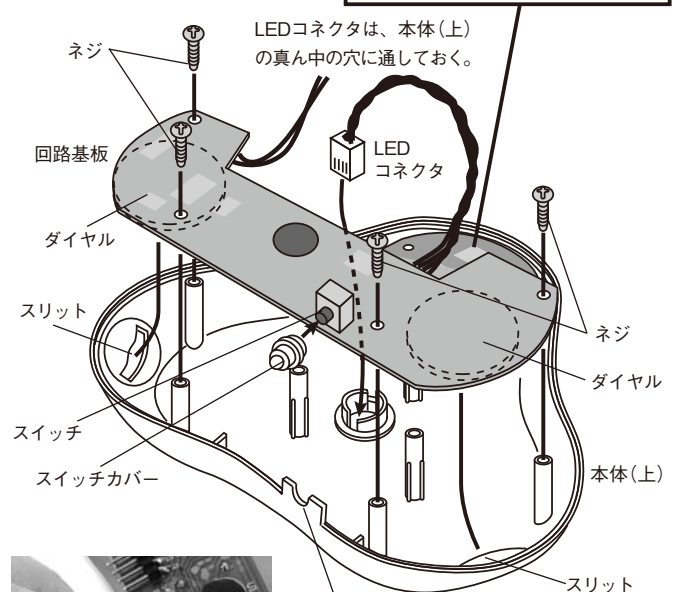
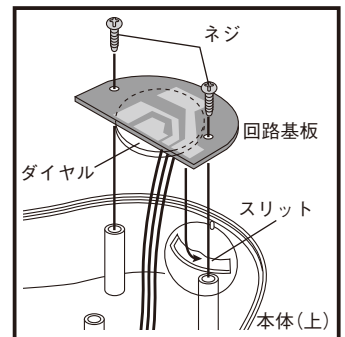
2. 電池ボックスからのコネクタを回路基板につなぐ

回路基板にある電池コネクタ受けに、本体(下)の電池ボックスから出ている電池コネクタを差し込む。



3. 回路基板を本体(上)に取り付ける

大きい方の回路基板のスイッチの位置を目安にして、大小の回路基板をネジで本体(上)にとめる。ダイヤルが本体(上)のスリットから外に出るように、斜めにすべりこませるようにする。スイッチカバーもいっしょに取り付ける。



スイッチをここに合わせる。

スイッチカバーは写真のように斜め上から黒いスイッチの頭にはめる。入りにくい時は、基板のネジをゆるめ、基板を後ろに寄せてからはめる。

■本体を組み立てる

1.本体(下)にカバーを取り付ける

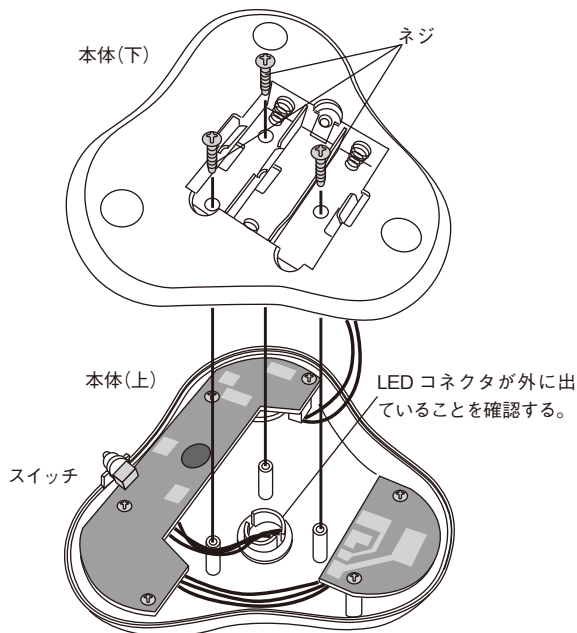
本体(下)にカバーをスライドさせるようにして、取り付ける。



※マガジンVol.27ふろくのJapaninoと連動させる場合は、カバーは取り付けない。

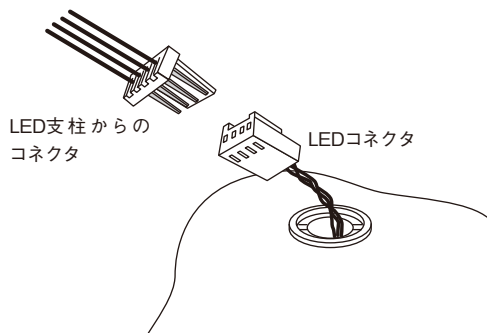
2.本体(上)と本体(下)を組み合わせる

スイッチの位置を合わせるようにして、本体(上)に、本体(下)をのせる。配線をネジどめ部分ではさまないように注意しながら、電池ボックスの中にある3つの穴を通して、ネジでとめる。



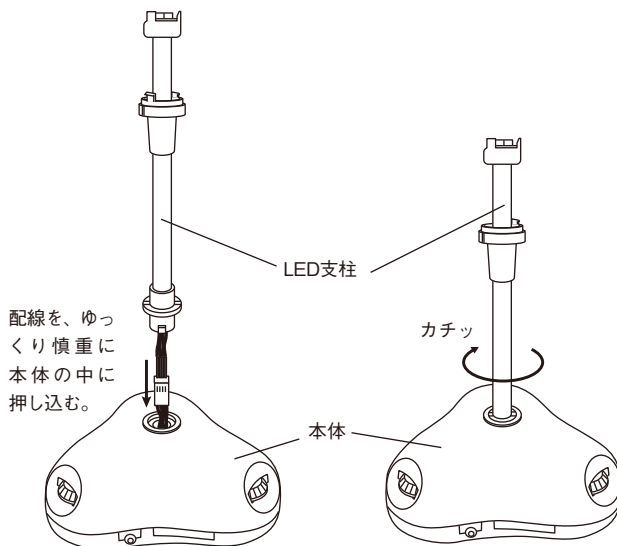
3.LEDコネクタをLED支柱につなぐ

本体の穴から出したLEDコネクタにLED支柱から出ているコネクタをつなぐ。

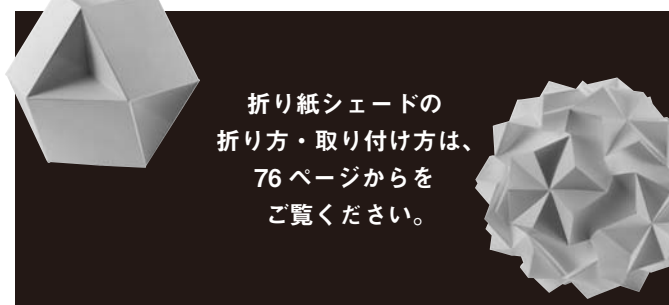


4.LED支柱を本体(上)に取り付ける

LEDコネクタ部分を本体の中に押し込み、支柱を本体の穴にはめる。穴の切り欠きに支柱の引っ張りを合わせて差し込み、カチッととまるところまで、支柱を右回しに回す。



完成



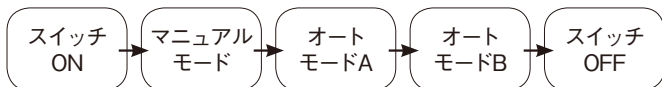
大人の科学マガジン Vol.27 ふろくの8ビットマイコン
ジャパニノ
「Japanino」と連動させる場合の使い方は、60ページから
をご覧ください。

折り紙シェードの用紙を追加してほしい方は、Eメール (okm@gakken.co.jp)
またはFAX03-6431-1641で編集部へおたずねください。その際にあなたの郵便番号、住所、氏名、電話番号、折り紙シェード希望を明記してください。折り返しご購入方法をお知らせします。電話でのお申し込みはご遠慮ください。

■ LED を点灯させる

本体のスイッチを ON にする

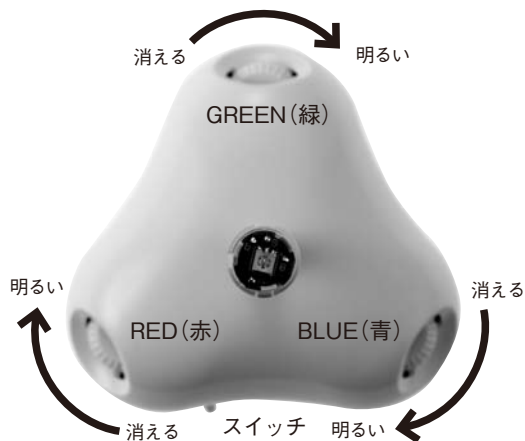
AKARI 折り紙のスイッチは、押すたびに下のような動作をするようにプログラムされています。それぞれのモードについて説明します。



※最後にスイッチ操作をしてから、1時間で自動的に電源オフになります。

マニュアルモード

このモードでは、ダイヤルを回して自由に色を作ることができます。それぞれのダイヤルは、スイッチに対して以下のような位置関係になっており、いずれのダイヤルも上から見て右回りに回すと、光が強くなります。お好みの色に調整してお使いください。



Q：電源を入れても光らない

A：電池が正しい向きで入っているか、また新しい電池を使っているか確認してください。LED支柱のコネクタ、電池のコネクタがしっかりつながっているかどうか確認してください。配線をネジではさんで切っていないかも確認しましょう。

Q：いつの間にか消灯している

A：省エネのため、最後に操作した時点から1時間後に自動で切れる「オートオフ機能」が働きます。もう一度、スイッチボタンを押してください。

Q：ダイヤルを回しても明るさに変化しない

A：「オートモード」で使っている可能性があります。スイッチボタンを数回押して一度消してから一回だけ押してください。「マニュアルモード」が選択され、明るさ操作ができます。

Q：ダイヤルの回転が重い

A：「ダイヤル」に、「本体(上)」、「LEDケーブル」が干渉している可能性があります。「本体(下)」を外して、ご確認ください。

Q：ネジが固い

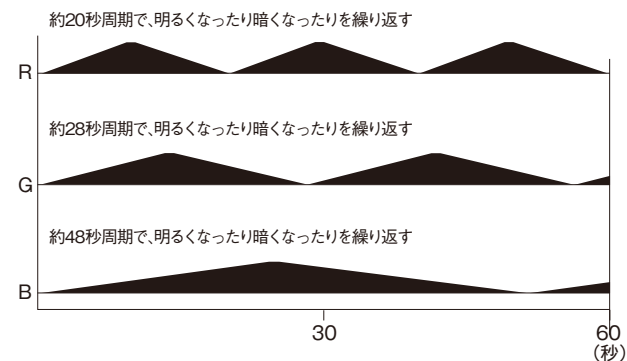
A：ネジ締めが難しい場合は、あらかじめネジだけを通し、なじませてから組み立ててください。なお、ビット(先端)のしっかりしたドライバー(JIS No.1)をお使いください。

Q：LED点灯が不安定

A：コネクタ端子の接触不良の可能性があります。数回抜き差し

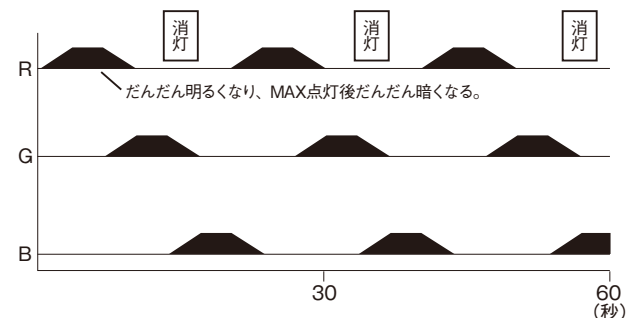
オートモードA

スイッチOFFの状態からスイッチを2回押すと、このモードになります。RGBそれぞれが違うタイミングで強弱を繰り返します。タイミングは以下のようになっていますので、ほとんどランダムに変化しているように見えます。



オートモードB

スイッチOFFの状態からスイッチを3回押すと入るモードです。RGBそれぞれが順番に強弱を変化させます。RGBの強い原色とその移行過程に現れる2色が混ざり合う色合いとで、メリハリの効いた色変化を楽しめます。



してから再度ご確認ください。

Q：電池ボックスが熱い

A：すぐに電池を取り出し、下記までお問い合わせください。

Q：折り紙が無い

A：スチロール箱の下にセットされています。ダンボール箱の中を再度ご確認ください。

Q：Japanino を使うと「オートオフ」しなくなった

A：JapaninoコネクタをつなぐとJapanino命令が優先されます。オートオフ機能が欲しい場合、Japaninoのスケッチで実行してください。

Q：スイッチが重い

A：83 ページ右下を参考に、基板の位置を直してスイッチカバーをはめ直してください。

Q：部品をなくした

A：少しですが、予備品を用意しています。下記までお問い合わせください。

※ふろくについてのお問い合わせは…

電話/FAX：03-6431-1272/1641 (平日 10:00 ~ 17:00)

メール：okm@gakken.co.jp

(FAX、メールでお問い合わせの際は、必ず、ご住所、お名前、お電話番号をご記入ください)